



ゆづくら
みなもやあ
第四十八号



メッセージ

母の介護日記

児島 睦美

(河相タダミ様の娘様)



母は20年前、糖尿病からの合併症で脳梗塞になり、右半身マヒになりました。T病院でお世話になっていましたが、夜中に玄関に行き「家に帰ります。」と言って看護師さんを困らせるようになりました。病院に迷惑は掛けられないので、私が仕事を辞めて家に連れて帰ろうと思い、「要介護2」から在宅介護が始まりました。

社協のケアマネさんより貴設を紹介され、デイケア・ショートステイを利用させて頂き、私の負担は随分軽くなりました。母も病院に居る時と比べて笑顔が増え、穏やかになっていくのがはっきり判りました。

しかし、困ったことに2年前、2回目の脳梗塞に襲われ、全身マヒになってしまいました。O病院の集中治療室で鼻にチューブを入れた姿を見ると、この先どうなるのかと心配はつきませんでした。その内、ミキサー食ではありますが口から食事が摂れる様になり、不安な中にも小さな光が見えてきてホッとしたのも、ついこの間の事のように思われます。それから又、貴設に戻る事が出来、現在に至っています。

母は家に居たい思いが強く、私が元気な内はデイケア・ショートステイ・ロングステイでお世話になり乍ら、できるだけ看たいと思っています。私がイライラしていたり、食事の時、うっかり叱ると私の顔色ばかりうかがって不機嫌になりムせるのです。あっ、言わなければよかったと思っても後の祭り。「後悔先に立たず」です。恐い鬼娘でごめんねと言うと苦笑して許してくれます。(勝手にそう思っているのですが・・・笑)

母と接する時は、せめて笑顔で穏やかにいられますようにと念じるばかりです。

これからも、往診して下さる先生、貴設のスタッフの皆さんやケアマネさんにフォローして頂き乍ら、少しでも現状維持が出来たら倖せに思います。



睦美さんの作品の数々です。

睦美さんは、介護しながら絵手紙を学ばれ、ふぁみりいにも飾らせていただいています。



家族参加カンファレンスに取り組んでいます

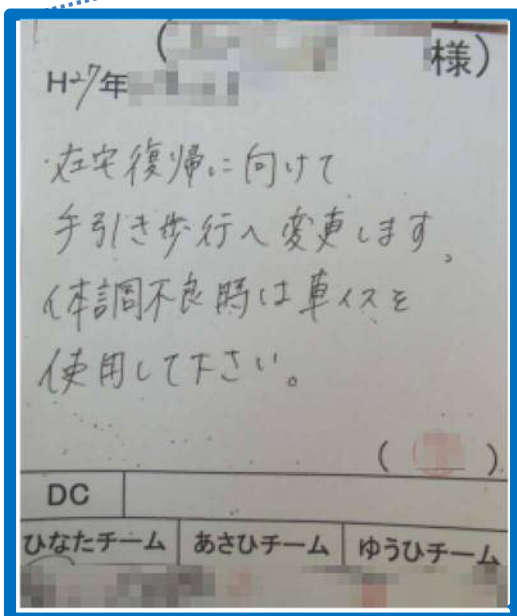
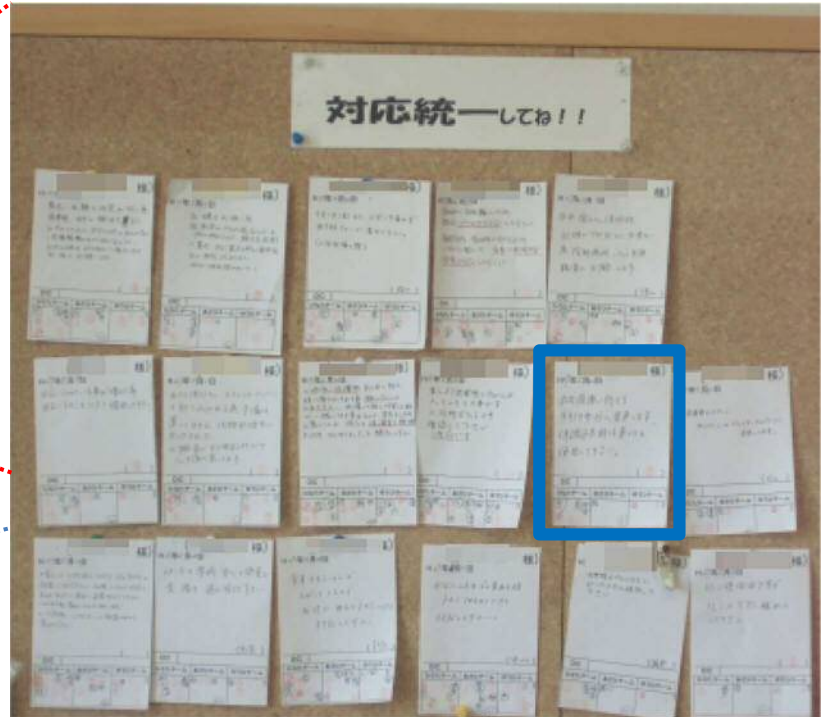


ご家族がご意見を出しやすいよう、
和やかな進行を心がけています。

ふぁみりいでは、一人ひとりに合った介護サービス計画を作成するため、医師、看護師、リハビリスタッフ、栄養士等、全ての職種が集まり、ケアの方向性を協議・決定する会議を定期的に行っています。また、必要に応じご家族の参加もお願いしています。

利用者様ご本人の状態をご家族と共有し、よりよい介護サービス計画（ケアプラン）につなげていくことを目指しています。

※ カンファレンスの意味…会議・協議



対応統一に向けて!



こうしてカンファレンスを通して作成したケアプランの特に注意していきたい部分を、職員全体で対応の統一が出来るように、サービスステーションに掲示しています。

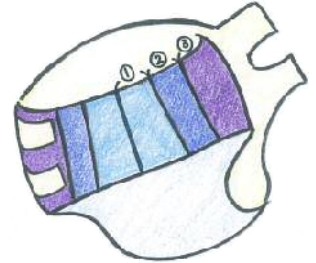


これって知っ得!

～ オムツの選び方・当て方 アドバイス (今回はテープ止めタイプです) ～

<テープ止めオムツの選び方>

1. ヒップサイズで選ぶ・・・必ずcmを確認して下さい
大きすぎるサイズは漏れの原因になります
止めるテープが中心近ければ(①)ワンランク小さいサイズ、
端なら(③)ワンランク大きいサイズにしましょう
2. 吸収量は?・・・おしっこ 〇回分、〇〇ccの記載を目安に!
おしっこ1回分は、約150ccで考えられています

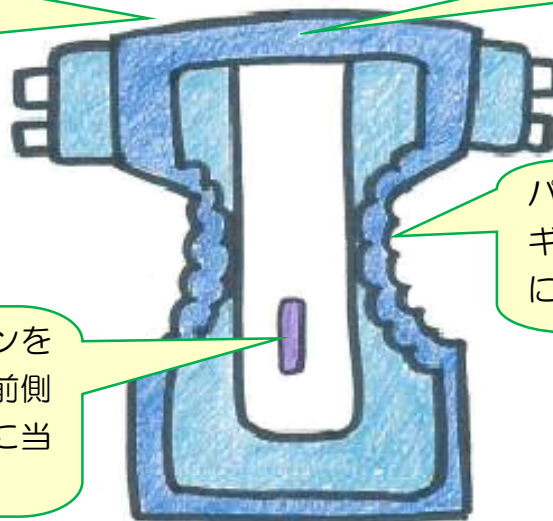


<テープ止めオムツの当て方>

テープ止めオムツの中心を背骨に合わせると、オムツが中心にきます



引き込み吸収ラインを尿道口に合わせ、前側が恥骨に来るように当てます



テープ止めオムツとパッドは、こぶし1個分開けると良いです

パッドは、両サイドのギャザーの中に入ると漏れにくいです



<ボランティアさん 紹介 (H27年4月～5月)>

伊藤善三郎様・高木清栄様(絵画)、甲斐啓義様(写真)、大場正光様(うたごえサークル)、くすのき会様(カレンダー作り)



ありがとうございました



<編集後記>

今年は、知って得するコーナーや、家族参加カンファレンス等、「へえ～!!」と思って読んでもらえる広報誌作りを目指しています。

質問お待ちしております。

(甲斐 里美)



<ゆっくらみなひゃあ 第48号>

題字：村上 満子 様

毎日、日記をつけています。

発行：平成27年6月

発行者：〒720-2104

福山市神辺町道上中ノ町 2977-1

(TEL)084-960-0300

(FAX)084-960-0301

